

道南のサルトリイバラ (サルトリイバラ科)

千歳市 五十嵐 博

はじめに

サルトリイバラは以前ユリ科であったが最近の分類体系変更によりシオデとともにサルトリイバラ科となった。シオデは全道各地に分布するがサルトリイバラは道南を代表する分布種である。道南分布を報告する。

文献調査

サルトリイバラ *Smilax china* L. は茎の長さ 0.5 ~ 2m のつる性で雌雄異株の半低木。茎に曲がった刺がつく。葉は長さ 3 ~ 12cm の円形~楕円形で厚くつやがあり、裏面は白みをおびる。葉に托葉がつき、その先が巻きひげとなる。花被片は雄花・雌花ともに 6 枚、雄花には雄しべが 6 本ある。径 8mm ほどの球形の液果は赤く熟す。開花は 5 ~ 6 月、低地の林縁に生え、分布は北海道 (西南部) ~ 本州・四国・

九州である (梅沢 2014)。

各種の文献調査産地は筆者の確認済である函館、恵山、松前 (図 1) などが多く、滝田 (2001) 記載の熊石町道路沢 (遊楽部岳) が北限となるが筆者は未確認である。

分布調査

1995 年 ~ 2021 年までの 27 年間で確認した国土地理院 2.5 万分の 1 地形図名は北から乙部②、白尻、陣屋、赤川、川汲、尾札部、上ノ国、茂辺地、函館、五稜郭、鉄山、古武井、恵山、立待岬、汐首、戸井、千軒、涌元、松前①、渡島福島①、渡島福島②、白神岬の 22 地点である。●印で図 2 に示した。

この八雲町以南の分布は五十嵐が提唱するサワグルミ型 (図 3) である。

(北海道野生植物研究所)



図 1 サルトリイバラ 松前町 2016.9.9

引用文献

滝田謙讓 . 2001. 北海道植物図譜 . 自費出版, 釧路 .

梅沢俊 . 2014. 新北海道の花 (4刷) . 北海道大学出版会, 札幌 .

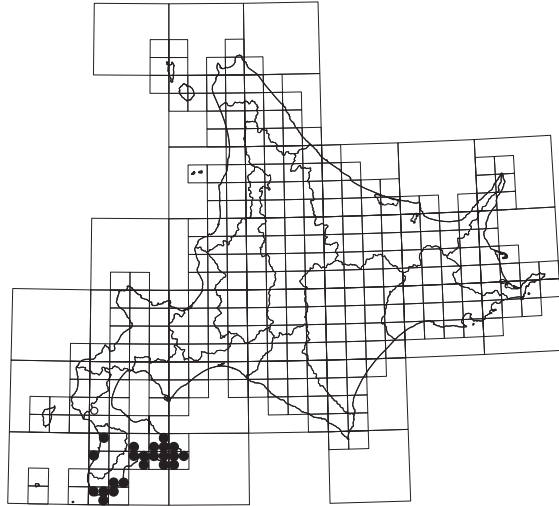


図2 サルトリイバラの北海道分布 2021

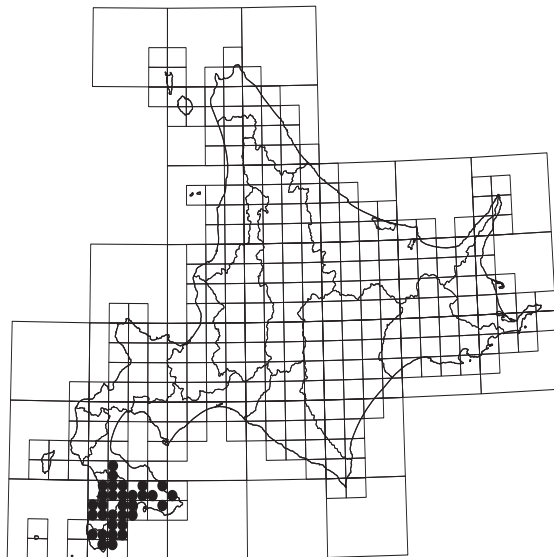


図3 サワグルミの北海道分布 2021